



鳴子響かせ 元気に よっちよれ (斗賀野中央保育園 花火大会)

さかわ

Sakawa

47
2011.8.1

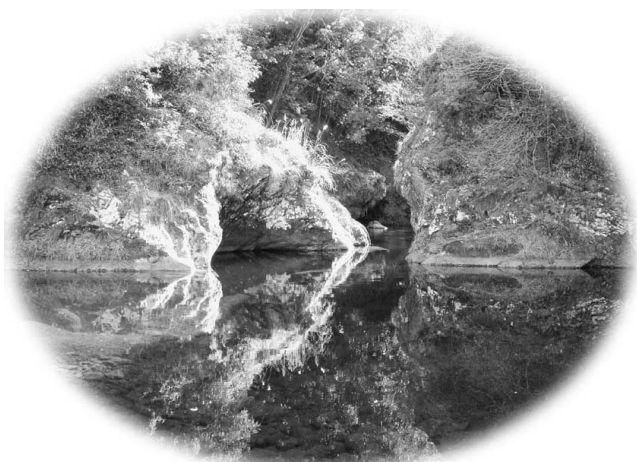
議会だより

発行 高知県佐川町議会

6月定例会

contents

目次



尾川小奥のオリアイ淵

6月補正予算 3928万円増額 2

東日本大震災の教訓は(一般質問) 5

役場浸水対策は(一般質問) 7

春日川左岸の整備完成 (あの質問のゆくえ) 14



町の新しいマイクロバスが走り始めます

6月補正予算 一般会計

3928万円を

増額補正

6月定例会は、7日から9日までの会期で開かれました。

平成23年度の補正予算をはじめ、議案8件、報告4件、承認5件、採決の結果、賛成全員および賛成多数で全件可決しました。

この中で、公用車・マイクロバスの購入契約締結を可決しました。

また、第3回臨時会において、農業委員会委員の推薦を行いました。

6月定例会で決まりました

平成23年度 6月補正予算

(単位: 万円)

会 計 名		補正額	補正後の額
一般会計		3,928	66億2,747
特別会計	国民健康保険	11	17億8,024
	介護保険	1,007	15億9,803
	後期高齢者医療	△ 33	1億9,407
	病院事業	300	21億8,502

承認案件

国民健康保険税

限度額が変更

国民健康保険税の一世帯当たりの限度額が医療保険分50万円から51万円に、後期高齢者支援金分が13万円から14万円に、介護納付金分が10万円から12万円に変更された。

企画観光係を設置

観光振興をさらに進めるため、4月1日より総務課に企画観光係を設置した。

6月補正予算ピックアップ

物品購入契約締結

公用車

マイクロバスの購入

(契約の方法)

随意契約

(契約金額)

1112万3650円

(契約の相手)

高知日野

自動車株式会社

高知FID

応援事業

459万円

高知ファイティングドッグスとの連携・交流を通し、町の物産販売、パンフレットの配布などをし、町のPRを行い、活性化を図るもの。

木造住宅耐震化

支援事業

417万円

昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅の耐震診断、設計、改修工事に対して補助をするもの。

ため池修繕工事

1000万円

川原田地区のかんがい用ため池の漏水防止工事を行うもの。

平成23年度第3回臨時会

7月14日開会

人 事

農業委員会

委員の推薦

横畠 増吉 氏

佐川町庄田541番地

佐藤 良一 氏

佐川町西山耕69番地

北添 正男 氏

佐川町加茂439番地

工事請負契約締結

佐川町民

第二グラウンド整備工事

(契約の方法)

指名競争入札

(契約金額)

7531万3350円

(契約の相手)

有限会社 尾崎建設

物品購入契約締結

電算機器購入

(契約の方法)

随意契約

(契約金額)

3328万5000円

(契約の相手)

株式会社 RKK

コンピューターサービス



事業継続計画、策定すべきだ

総務課長 研究した上で、判断したい

松浦 隆起 議員



8人が町政を問う

ここが聞きたい

東日本大震災を機に、注目されている取り組みが「事業継続計画」である。これは、地震のような大規模な災害が発生しても、企業や行政機関が重要事業を継続できるように、事前に立てておく計画だ。

人、物、情報、ライフラインなど、利用できる資源に制約がある中、継続性の高い通常業務、非常時優先業務を特定し適切な業務執行を行うことを目的としている。本町においても、早い時期にこの「事業継続計画」を立てておくべきだ。

岡林総務課長 地方公共団体においては、「地域防災計画」レベルで十分対応できると認識している。本町にとって、策定の必要があるかどうか、研究した上で判断したい。

子育て支援対策

病後児保育の早期実施を

健康福祉課長 実施できる機関がない



愛する子どもたちのために

病児・病後児保育は、共働き世代が多い現状においては欠かせない事業のひとつだ。昨年3月に作成された「次世代育成支援行動計画」の後期分5年計画の中に、病後児保育事業がメニューの中に含まれている。計画策定より、1年を越えている。早期に実施すべきだ。

下川健康福祉課長 町内の関係機関、近隣の実施機関などに相談をしたが、条件的に実施できる機関がなく、現在に至っている。

期日前投票

宣誓書を入場券の裏に印刷できないか

総務課長 慎重に検討する

各選挙の折、期日前投票を行う場合、受付において、期日前投票宣誓書に署名を行わなければならない。このことについて、高齢者の方などから職員がいるところで記入することが緊張をするなどの理由から改善を求める声が届いている。有権者の方が投票しやすい方法にするべきだ。

投票入場券の裏面に宣誓書を印刷し、事前に自宅において記入できる方法など、改善に向けて取り組むべきだ。

岡林総務課長 投票事務従事者の前で記入することにより、プレッシャーを与えている状況については認識している。宣誓書を投票所以外で書く場合、本人確認の問題や二重投票の危険性もあり、慎重に検討する必要がある。ただ、入場券の裏面に宣誓書を印刷する方法や期日前投票所に他から見られない記入台を設けるなどの方法を検討したい。

東日本大震災の教訓は

総務課長 さらなる対策が必要

本町の防災対策として、東日本大震災から学ぶもの、教訓としなければならぬものは何か。

本町の災害対策を点検し、真剣な見直しにより、安全安心の町づくりをするべきだ。

岡林総務課長 被害想定は家屋の倒壊、火災、土砂崩れ、道路の寸断が予想され、その観点から人命救助、避難所、孤立集落へのさらなる対策が必要と考えられる。

また、行政が被害を受けた場合のリスクマネジメントも必要であり、地域防災計画も併せて見直しを行いたい。
自主防災組織は、26年度までに100%の組織率としたい。

平成の大合併

合併しなかったことの検証必要

町長 検証は難しい

平成の合併で、合併した自治体はその検証をしている。

合併をしなかった本町においても検証が必要ではないのか。具体的に点検をしてみることが大事だ。

榎並谷町長 合併したら、どうであったかという検証は難しい。

平成の合併は行政の広域による事務と財政の効率化であった。

本町は、財政的には厳しいが、財政力は県内で中ほどより上だ。

課題は少子高齢化による人口減だ。こういったものを町づくりに組み入れなければならない。

かいな小富士団地

完売に向け、取り組むべきだ

町長 全庁的に取り組む



完売への努力必要

だ。問題は単価が現状にそぐわないこと、職員が業務をこなしながら、専門的な土地の販売を行うことに無理がある。

完売に向けてプランを練り、取り組むべきだ。

岡林総務課長 かいな小富士団地は現在19区画売れ残っている。

町内3社の不動産業者に販売を依頼し、若者定住対策補助金の制度も拡充している。その他、対象を個人住宅だけでなく、アパート等も対象とすることを考えている。

榎並谷町長 全庁的に取り上げなければならない問題だ。

かいな小富士団地の販売実績は22年度1区画

森 正彦 議員



自主防災の組織化に取り組んでいる



本町の取り組みは

総務課長 電灯のLED化、検討

東日本大震災で、原発停止や浜岡原発の全面停止などで、夏場の電力不足になる。国を挙げて国民に節電を呼びかけている。本町の庁舎と関連する施設の節電対策は、また町民に節電の要請はするの。

岡林総務課長 クールビズを例年より早めに開始し、昼休みの消灯など、不要な電気をこまめに消すよう心がけている。効率よい仕事に心がけ、残業を減らすことも節電につながるため、さらに指導をしていきたい。

また、公的施設の電灯をLEDにするなどの検討もしている。

榎並谷町長 役場において、一層節電に心がけていることを、町民にお知らせし、協力を願いたい。

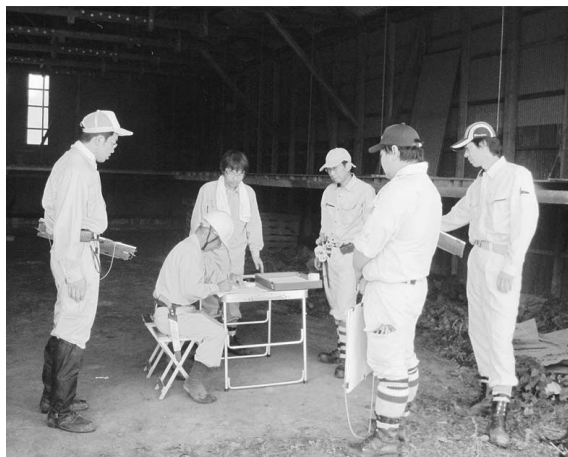
筆界未定地、 どれだけあるか

国土調査課長 未定筆数284筆

本町の国土調査は平成3年から始まっている。平成22年度までの調査は、どれくらいできているか。また、筆界未定地はどれだけあるか。

氏原国土調査課長 平成22年度末の現地調査の進捗率は70%、平成20年度末で筆界未定地は59件、未定筆数284筆。

筆界未定の理由は、分筆・所有権移転ができていない、境界の合意が得られない、土地所有者が不明、調査協力が得られず境界立会をできないも



協力員とともに調査準備

霧生関公園

テニスコート 4面設置を

産業建設課長 4面への作業進めている

霧生関公園にテニスコート4面設置の要望が多くある。4面あれば80人から100人参加の大会を開催でき、町外からも多くの人たちが来ること

渡辺産業建設課長 コー

ト4面については関係団体から要望を受けている。都市計画法に基づく開発許可を変更して、4面にする作業を進めている。

本町の産品の地産外商にもなり、本町の活性化にもつながる。コート4面を設置すべきだ。

○ 農地の貸借は適正にできているか。

その他の質問



23年度中完成目指して

撤去、具体的進展がない

産業建設課長 補助事業、探している

沈下橋撤去の質問については、3回目となる。町単独予算ではできないため、各種補助事業を調査導入に努めることの答弁があったが、具体的進展がない。その原因は、人命にかかわることではないとの甘い思いから、先送りしているとした。考えられない。

渡辺産業建設課長 沈下橋撤去について、何もせず先送りしているわけではない。具体的進展はないが努力はしている。撤去費は概算で700万円。町単独予算では難しいため、国、県の補助事業を探している。撤去できないことは申し訳なく思っている。

春日川・桜並木

右岸北方向に遊歩道を

産業建設課長 遊歩道には疑問

松崎橋より右岸北方向に200メートルの区間は、桜がきれいに咲き誇っており、名所にできるのではないかと。松崎橋からの眺めはよいが、遊歩道やベンチもない。買い物帰りでモズに歩ける場所があり、車いすのすれ違いができるくらいに舗装を行い、花見ができる具体策は取れないか。

渡辺産業建設課長 この場所はJRの敷地となっており、列車も通るため、安全確保のための整備も必要である。特急列車などの通過時にはすさまじい音がし、この場所が遊歩道に適しているか疑問である。

左岸側の遊歩道は改良されており、すでに桜の名所になっていると認識している。

防災対策

役場への浸水対策は

総務課長 真摯に検討したい



50 災、ここまで浸水

昭和50年8月の5号台風と同じ規模の災害が発生した場合、役場、消防屯所などが浸水の被害を受け、OA機器や消防車などが使用不能になり、役場の機能が完全にまひする。

発電機は屋上に、OA機器は2階に移すなどの対策を取る必要がある。

岡林総務課長 昭和50年の豪雨大災害と同程度の被災水位となった場合でも、電算サーバーなどの主要機器は庁舎2階に設置しており、大きな損傷には至らないと考えている。

防災無線操作室は1階、発電機も1階屋外にあり浸水被害の可能性がある。クリアする課題は多いが真摯に検討したい。

その他の質問

- 柳瀬川の草刈りを下流の仁淀川合流点まで、できないか。
- 柳瀬川水害対策の勉強会は、いつ行うのか。



片岡 勝一 議員



生かしたい桜並木

県道297号線の加茂駅から西の改良計画がある。地元では大歓迎しているが、加茂地区外の地権者もいると聞く。町として現状をどう把握しているか。また、今後どう取り組むか。

県道297号

加茂駅以西の改良計画は

産業建設課長 現在1kmを測量中

坂本 貞雄 議員



待ちに待った改良工事

渡辺産業建設課長 県内でも交通量の多い県道として改良との方向で話があった。加茂駅から下山の交差点まで約3km、2車線を、新道形式、バイパス方式などで改良を行う計画。現在、加茂駅西1kmを測量中である。榎並谷町長 県の事業であり、県議会の企画建設委員会、中央西土木事務所越知事務所にも強くお願いしていく。町としても用地取得に全力で取り組む。

国道33号線高知西バイパス

開通はいつか

産業建設課長 全線開通は平成28年度以降

節電対策

街路灯の減灯できないか

町長 減灯は厳しい

東日本大震災で15%節電が言われている。町内の街路灯は定額制で深夜も夕暮れ時も変わらず、深夜は非常に明るく感じる。減灯（節電）できないか。榎並谷町長 商工会、商店、個人といった歴史的背景があつて減灯は厳しい。ただ、安全性を確保しながら、節電の方向については町としても気にとめておかなければならないと考える。

その他の質問
○ 学校耐震化を急ぐべきだ。

高吾北消防署の救急車の60%は高知市内に行っているが、いの町内の渋滞がひどい。国道33号線高知西バイパスは「命の道」といえる。開通はいつか。渡辺産業建設課長 関係する首長と議長で構成する国道33号整備促進期成同盟会で取り組んでいる。いの町の一部は平成24年度、全線開通は28年度



みんなで考えよう、節電対策



今橋 寿子 議員

桜座の運営は多数のボランティアに支えられ、創意と工夫で成り立っている。ここ数年基金も減少し、ボランティアの増員も厳しく、育成も困難になっている。職員の給与比率も高く、今後の運営方法について心配する声が多い。どう検討しているのか。

桜座

今後の運営方法は

教育長 指定管理者制度導入も視野に



多くの人に利用されている桜座

牧野富太郎生誕150周年

記念行事、どう取り組む

教育次長 150年にふさわしい行事にしていこう

川井教育長 文化に対する意識の高いボランティアの方々に一人1回千円という低額でさまざまな業務をお願いしている。職員の給与比率は全体経費の44%を占めており桜座の運営基金も厳しい状況にある。指定管理者制度導入も視野に入れながら、桜座クラブの皆さんの意見を聞き、本町の文化の殿堂である桜座の適正な管理運営に努めたい。

平成24年に、本町出身で世界的な偉人の一人である牧野富太郎博士、生誕150周年を迎える。どういった記念行事を考えているのか。一時的な花火のようなイベントにするのではなく、佐川町の文化はここにありというべらいの気

持ちで、子どもたちに継承していけるような地道な事業として取り組むべきだ。

岩本教育次長 24年度には県立牧野植物園においても記念事業を行うので、十分に連携をとって150年にふさわしい記念行事にしていこう。

榎並谷町長 大変、貴重な資料も残していただきながら、多くの目に触れにくい状況に置かれてきたことは反省しなければならぬ。

記念行事については23年度内に検討を行い、牧野博士の生まれた上町の整備と一体的に、経費の投資効果も含めて真剣に考えていきたい。一過性にならないよう持続さす方向で取り組んでいく。

佐川中学校

町民プール使用 弊害ないか

教育次長 生徒には好評



現在、佐川中学校にはプールがない。そのため、町民プールを授業で使っているが、一般の町民の方も利用している。弊害などはおきていないか。また、佐川中学校にプールを建設する予定はないか。

その他の質問

○ 人事異動はどういった基準で行われているのか。

○ 「早寝早起き朝ごはん」以外の食育の施策は。

○ あったかふれあいセ

ソニアは、平成5年から操業を始めて以来、赤字が続ぎ、その総額は6億5千万円以上となっている。5月末には職員に対して解雇予告通知を行う状態になった。

ソニア存続問題

民間参入ない場合の処理は

町長 清算以外にない

中村 卓司 議員



現在、本町への固定資産税の減免、水道設備設置を参入条件として、民間企業の参入の話がある。参入しなかった場合、倒産、解散、閉鎖など、やめなければならぬ状態になる。その場合、どう処理していくのか。

榎並谷町長 ソニアは発足当時から赤字が続ぎ、努力してなかったのではないが、結果的にこのようになった。

参入にいちろの望みを託しているが、だめになった場合、清算以外に打つ手がない。法的手段のもとで、町民の皆さんに理解を得られる処理をしなければならない。

住宅防火対策

警報器設置 どう取り組んでいるか

総務課長 高齢独居世帯などに無料配布



終結間近か

住宅用火災警報器の設置義務が5月31日までであった。他町村においては、補助などの話も出ている。本町ではどう取り組んでいるのか。

岡林総務課長 本町においては、「佐川町火災警報器設置事業実施要綱」を定め、65歳以上の高齢者の独居住宅、要支援、要介護者、身体障害者の方など2346世帯に無料で配布する事業を行った。本町の普及率は約75%。今後も、消防本部と連携し、全戸普及に向けて、取り組んでいきたい。

町内の各駅の駐輪場整備の要望が毎年ある。自転車があればらに置かれ、駅によっては屋根もなく、近隣の人が整理をしている状況だ。

屋根を付け、整備をする必要がある。

渡辺産業建設課長 用地はJRであるため、協議の必要がある。さらなる要望等があれば、補助事業の導入などを調査し、

産業建設課長 補助事業の導入、調査

屋根を付け、整備を

計画性を持って取り組んでいくよう検討したい。

その他の質問

○道の駅、実施への行動計画は。

○柳瀬川水害対策、基盤整備含めた河川改修行つか。

○東日本大震災からの教訓は。



屋根があればよいのに



松本 正人 議員

本町職員のラスパイルス指数は、県内市町村の中で最低である。
また、人口千人当たりの職員数も最低で、越知町の半分くらいとなっている。「構造改革」、財政

職員労働条件

職員数、少なすぎる

町長 県下最低は誇り

を伴わない「地方分権」の政策が進む中、自治体職員の仕事は増える一方と言われている。その中で本町の職員数は少なすぎるのではないかな。
また、本町の臨時職員は76人(正職員107人)と多く、異常だ。学校給食センターの調理職員13人中、6人が臨時職員で、町内7小中学校の用務員全員が臨時職員だ。「臨時」という概念から外れているのではないかな。

榎並谷町長 給与水準、職員数ともにランキングが県下最低というのは町民に対して誇りだ。少ない中で合理化、効率化を進めることが町民に対する行政サービスの価値を高めている。
川井教育長 調理員は技能労務職員であり、町の定員適正化計画において、原則として退職不補充となっており、臨時職員対応となっている。



子どもたちにおいしい給食を

国道494号線佐川バイパス開通前から、東元町から猿丸に抜ける道路を大型ダンプカー、トラックが通り大変危険であり、迷惑だという声がある。
開通を機に、県が交通量の調査を行ったと聞きますが、その結果は。

渡辺産業建設課長 県中央西土木事務所が、佐川バイパス開通前の4月21日と、開通後の5月26日に一日の大型車両の交通量を調査し、従来の通行道路で429台から174台と255台減少しているという結果が出ており、一定の効果があつたと認識している。

国道494号線佐川バイパス

交通量調査の結果は

産業建設課長 交通量は減少している



車の流れが変わった東町三叉路

ラスパイルス指数とは・・・。

地方公共団体の一般行政職の職員の平均給与額を求め、国の平均給与額を100として、算出した指数。

常任委員会レポート

総務文教常任委員会 町有林現地調査

調査日 4月25日

委員長 徳弘 初男

協働の森づくりで 森の再生

尾川小奥、越知町宮地、仁淀川町名野川山の町有林の現地調査を実施した。小奥のイナイ山は、総面積38.47haで、その一部10.27haを「高知西ロータリークラブ創立40周年記念の森」として、高知西ロータリークラブ、高知県、佐川町の3者が互いにパートナーとして、森林の再生及び地域との交流を進めるために、平成22～24年までの3年間で90万円の協賛金を受けて実施するもので、本年度は、2.89haの間伐を実施しており、その確認を行った。



砂防ダム、本年度 には完成の見込み

仁淀川町名野川山の町有林は、管理をしている仁淀川森林組合の職員から、植林の生育状況の説明を受け、国土調査に基づいた境界確認をした。また、カラ谷団地沢付近の崩壊箇所の災害復旧工事では、砂防ダム4カ所目が工事中で、本年度中には完成の見込みである。

病院建設予定地を 調査

笹岡病院事務局長ほか2名の職員に出席を願い、高北病院耐震化事業の現状と今後の計画などの説明を受け、意見交換と建設予定地の調査を行った。

総工事費

21億7600万円

耐震化事業は、平成22年度から25年度までの4年間の継続事業として新増築と在来棟改修するも

調査

産業厚生常任委員会

調査日 5月12日

高北病院耐震化事業の現状と 今後の計画を調査

委員長 中村 卓司



建設予定地の視察を行う委員

ので総工事費21億7600万円で計画している。調査時点では開発許可が下り、現在、敷地造成工事が発注されたところである。

診療時間待ちの 短縮など要望

意見交換では、非常電源の設置場所、交通安全対策、玄関への車寄せの設置、売店の面積の増、患者さんへの接遇、診療時間待ちの短縮などの意見や要望を行なった。

本体完成は 25年2月予定

今後の予定は、建築確認申請を提出し、11月中旬に業者選定を行い、在来棟の仮設工事をし、24年3月から新増築工事の本体工事に入る。本体完成は25年2月に完成の予定とのことだ。在来棟の解体など全ての工事が完了するのは25年9月末になる。

わがまち

人

NPO法人 とかの元気村

—いつ頃から始められたんですか。

—とかの元気村の活動は、幅広く、大変なのではないですか。

—斗賀野駅はいつも花が咲いていて、きれいに整備されていますね。

—地域のための活動をされているのはどんな思いからですか。

—最後に今後の抱負と夢をお聞かせください。

若い人たちが増え、子どもたちが地域の自然の中で伸び伸びと育つ、そんな「とかの」にしたいですね。

ありがとうございます。

「今日も保育園の川遊びを手伝ってきたよ」と笑顔で話してくれました。

これからも地域のために元気に頑張ってください。

ご活躍を期待しています。

あなたの周りに、人知れず「佐川のまち」の元気のために活躍されている「人」をぜひ、ご紹介下さい。

ご連絡は議会事務局まで。

わがまち「人」では、この佐川のまちで元気に活躍されている方にスポットをあて紹介します。

今回は「NPO法人とかの元気村」の村長として活躍されている庄野孝也さんにお話を伺いました。



庄野 孝也 さん

退職をしてすぐに地域の役に立ちたいと、子ども通学路に立つて旗振りをしていました。そのときに声を掛けていただき、10年を過ぎました。まだ、「とかの里づくり懇話会」と呼んでいた頃です。

そうですね。会社で働いていた頃より、身体的には忙しいですね。軽トラを相棒にあちこちと走り回っていますが、いろんな人が協力してくれるので、助かっています。

—主にどんな活動をされているんですか。

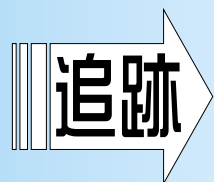
地域がよくなることなら何でもやりたいと思っています。私自身も「文化の会」と「斗賀野駅をきれいにする会」の会長もしています。



とかの元気村の協力で農業体験学習

これはJRのOBの方や通勤、通学でお世話になった人が会員となり活動しています。私も斗賀野駅から40数年間、高知へ通いました。

仕事で朝早く出て夜遅く帰る毎日でしたので、何ひとつ地域のことができていませんでした。退職を機に、地域への恩返しから、活動をしています。



あれはどうなったか？

あの質問のゆくえ

No.18



利便性がさらに向上した春日川左岸

春日川左岸の整備急げ

(平成22年3月定例会)

健康福祉センターかわせみより西佐川駅までの春日川左岸は、伏尾団地、三野部落、青去部落の住民の通勤、通学路として多くの方が利用している。舗装、防護柵、植栽などの整備がされていない。整備すべきだ。

(徳弘初男議員)

産業建設課長 答 弁

22年8月に完成

21年度予算に計上し、県の河川占用の許可が22年4月に下り、22年8月に完成した。
この完成により通勤、通学、ウォーキングなどの安全が図られた。

どう
なった

7月中には完成させたい

春日川左岸の道路は、通勤、通学、ウォーキングなどの利用も大変多い。県の河川占用の許可が22年4月に下りる見通しであり、7月中には完成させたいと思っている。

あなたが選んだ議員の
仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は9月6日午前9時開会
予定です。傍聴においでください。

議会広報編集委員会

※わかりやすい紙面にと心がけています。
読後のご感想、ご意見をお寄せください。

委員長	岡村 純正
副委員長	坂本 貞雄
委員	松浦 隆起
委員	片岡 勝一
委員	森 正彦

編集後記

議会だよりの編集において、編集委員がいつも心がけていることがあります。それは、議会の内容を忠実に町民の皆さんに伝えること。

今、各議会において、議会改革が言われており、様々な取り組みが模索されています。そのなかで、議会報告のひとつの手段として取り組まれているのが、議会広報です。

私たち編集委員はその議会広報の使命を自覚し、毎回真剣に取り組んでいます。特に各議員の一般質問のページは、少しでも議員の発言の趣旨が伝わるよう、努力しています。

しかし、いくら私たち編集委員が忠実に文章を作ったとしても、議会での各議員のその質問に対する熱意や臨場感まではなかなか伝えきれません。

傍聴は、その議会の熱を感じることでできるひとつの手段です。

9月議会でお待ちしています。

松浦